

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果検証シート

No. 22

1.事業名	文化財保護施設等感染症対策（展示解説用品導入）事業				
2.担当部署	教育部				
3.事業の概要	新型コロナウイルス感染防止対策のため、登米懐古館展示室内での解説を中止しているが、来館者や観光ガイドボランティア、旅行会社関係者から企画展示解説の要望が多いため、映像解説による対応を実施する。				
4.事業の目的	登米懐古館では、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、展示室内での解説を中止している。来館者からは、展示資料に関する問い合わせが多くあるが、解説対応による職員の感染リスク及び職員を媒介とする来館者への感染リスクが高い。来館者及び職員の感染防止対策としてスペースプレーヤーを導入し、展示室内での映像解説を行うことにより施設としての感染防止対策を強化する。				
5.事業対象	施設利用者及び職員				
6.年度末状態	年度内完了				
7.事業予算（決算）	238千円	執行額	238千円	執行率	100.00%
8.事業評価	非常に効果的であった				
9.事業評価理由	展示室内で映像解説を行うことにより、約1万人の観覧者に感染防止対策を実施することができた。観覧者へのサービスの質を低下させることなく、職員の感染に対する不安も解消された。				
10.事業の課題	課題なし				
11.課題の要因	課題なし				
12.令和4年度の方向	事業継続				